

(仮訳)

日米韓外相会合 共同声明

2022年9月22日

アントニー・ブリンケン米国国務長官、林芳正日本国外務大臣及び朴振（パク・チン）韓国外交部長官は、本日、ニューヨークにおいて開かれた国連総会のマージンで会談を行い、我々が21世紀の喫緊の課題へ対応しようとする中で、日米韓三か国の力強い協力へのコミットメントを再確認した。米国の韓国及び日本に対する同盟上の揺るぎないコミットメント及び我々の緊密で長きにわたる友情は、我々の国民、地域、そして世界の安全と繁栄に不可欠である。

閣僚は、不安定化をもたらす北朝鮮の行動に対応し、朝鮮半島の完全な非核化の実現という我々の共通の目標を前進させるために協働する重要性を強調した。閣僚は、そのいずれもが複数の国連安保理決議に違反し、地域に深刻な脅威を及ぼした、今年の北朝鮮による多数の弾道ミサイル発射を非難した。閣僚は、北朝鮮が核実験を行った場合、国際社会は力強く毅然とした対応を行うであろうことを再確認した。閣僚はまた、核政策に関する新たな法律の制定を含め、事態をエスカレートさせ、不安定化させる北朝鮮の核兵器使用に関する発信に深刻な懸念を表明した。ブリンケン長官は、韓国及び日本の防衛への米国の強固なコミットメントを再確認した。閣僚は、北朝鮮に対し、関連する国連安保理決議の下での義務を遵守するよう求め、また、国際社会によるこれらの決議の完全な履行を求めた。閣僚は、真剣かつ持続的な対話の重要性を強調し、北朝鮮に対して交渉に戻るよう求めた。この目標に向けて、ブリンケン長官と林大臣は、韓国の「大胆な構想」の目標に対する支持を表明した。また、閣僚は、拉致問題の即時解決を実現することの重要性を再確認した。

閣僚はまた、我々の太平洋島嶼国のパートナーのニーズ及び優先事項を支援するという共通のコミットメントを確認した。これらの国々は、農業及び食料の安定性、淡水の利用可能性及び経済的活力を脅かす変化する気候の最前線にある。自由で開かれたインド太平洋という統一のビジョンは包摂的なものであり、それに導かれ、閣僚は、太平洋島嶼国が気候変動の緩和及び適応に関する資金並びに予測にアクセスすることを支援するための相互の取組を調整し、それを基礎とするための方法を模索することをプレッジした。閣僚はまた、海洋安全保障の強化及び違法・無報告・無規制（IUU）漁業との闘いのための太平洋島嶼国の取組に対する支持を再確認した。

閣僚は、ASEANの一体性及び中心性への支持並びに「インド太平洋に関す

るASEAN・アウトルック」への支持を再確認した。閣僚は、平和で安定した地域を維持するため、ASEANとの、またASEAN主導の枠組み内での関与を強化する必要性を強調した。閣僚は、ミャンマーにおける危機の解決に向けた「5つのコンセンサス」に基づくASEANの取組への支持を改めて表明した。

閣僚は、ルールに基づく経済秩序を強化し、インド太平洋地域及び世界の繁栄を促進するための日米韓三か国の協力の重要性を強調した。特に、経済的威圧を前にして、共に立ち向かう必要性に留意し、そのような行為を抑止し、これに対応するために協働することにコミットした。さらに広い観点から、閣僚は、各国が不当な圧力を受けることなく、自らの道を選択することができる国際秩序を堅持するために協働することを誓約した。

最後に、閣僚は、ロシアによるウクライナへのいわれのない侵略を非難し、ウクライナの主権、独立及び領土一体性に対する揺るぎない支持を表明した。閣僚は、世界のいかなる場所においても、力や威圧による領土や地域のいかなる現状変更の試みにも反対することを強調した。閣僚は、国際社会と共にこの明確な国際法違反に断固として対応し、ウクライナ政府及びその国民に支援を提供する必要性を再確認した。

閣僚は、安全で繁栄した未来に向けた三か国の定期的な連携に期待を示した。この目標に向けて、閣僚は、定期的な三か国の閣僚級会合を継続し、両次官及び副長官並びに北朝鮮担当特別代表に対し、緊密な連携を継続するよう指示することを誓約した。